

第1回 事例研究ワークショップ

会員限定
Web開催

「ケアの意味を見つめる事例研究」 が拓く高度実践看護の未来

2025年1月12日(日) 10:30-16:00

講演の講師 山本則子先生(東京大学 教授)
ファシリテーター 柄澤清美先生(新潟青陵大学 教授)
ファシリテーター 雨宮 有子先生(千葉県立保健医療大学
准教授)

参加登録方法

<https://sientificcasestudy.peatix.com>

会員は参加費無料



非会員で参加をご希望の方は、次のURLから
ご入会の手続きをお願いします(年会費3千円)

<https://forms.gle/pYKWJ631H5XwDgQZA>

九州・沖縄高度実践看護師活動促進協議会
精神看護担当代議員会 & 研究担当代議員会



山本則子先生
(東京大学 教授)



柄澤清美先生
(新潟青陵大学 教授)



雨宮 有子先生
(千葉県立保健医療大学
准教授)

10:30-12:00 講演 「ケアの意味を見つめる事例研究
の理論的基盤と方法」
講師 山本則子先生

13:30-16:00
グループワーク 挑戦！ケアの意味を見つめる事例研究
ファシリテーター 柄澤清美先生・雨宮有子先生

※講演は人数制限なし。グループワークは先着40名まで

開催趣旨

高度実践看護はエビデンスに基づく介入であることが前提です。しかしそのエビデンスとは何か？ということについては、意見が分かれるところです。RCTデザインの介入評価研究は勿論大事です。しかし看護学の場合に厳密な実験研究が臨床で可能なわけではありません。また、看護の対象となる方の個々のニーズに応えるためには、マスで観る視点だけでは不足で、個で観る視点も大事です。今回のワークショップでは、対象を「ケアの意味を見つめる事例研究」の方法について、講演とグループワークを通して実践的に学びます。「ケアの意味を見つめる事例研究」の方法を確立し普及してこられた先生方にご登壇いただきます。今回はグループワークを行うため、会員限定の企画としました。

精神看護担当代議員会 & 研究担当代議員会